
サイバーリスクの日
Cyber Risk Day
サイバーリスクを見える化し、
社会とビジネスの安心・継続性を高める日
Visualizing Cyber Risks
for a Safer, More Resilient Society and Business
情報漏えい
リスク
サイバー攻撃
リスク
データ
リスク
システム
停止リスク
サプライチェーン
リスク

先端科学技術記念日制度

ADVANCED SCIENCE & TECHNOLOGY
COMMEMORATIVE DAY SYSTEM

11月20日
サイバーリスクの日

CYBER RISK DAY



デジタル社会の脅威を見える化し、社会とビジネスの安心・継続性を高める

情報漏えい・サイバー攻撃・データ改ざん・システム停止・
サプライチェーンなどデジタル社会のリスクに対応する
技術・製品・サービスの提案を、企業・団体等から募集します。

応募費用 0円
アイデアから気軽に提案できます。

事業化後は 月額定額ロイヤリティ方式
売上に連動しない明確で予測しやすい料金体系です。

自社の技術・製品を社会へ発信
記念日を起点にその魅力を広く社会に発信できます。

広報・メディアでの露出機会
記念日をきっかけに社会的な認知拡大が期待できます。

新規事業の創出
サイバーリスク分野の新たな製品・サービスの事業化を促します。

非独占ライセンス
審査に合格した企業・団体等が非独占で活用できます。

サイバーリスク対策の未来を、今から事業に

貴社の技術・サービスを、記念日を起点に社会へ

日本 X-TECH 連盟
JAPAN X-TECH FEDERATION

office@sentankinenbi.com
sentankinenbi.com

先端科学技術記念日制度
Advanced Science & Technology Commemorative Day System

11月20日 サイバーリスクの日
CYBER RISK DAY

デジタル社会のリスクに備え、より安全な社会へ。



サイバーリスクを見える化し、社会とビジネスを守る記念プロジェクト

11月20日「サイバーリスクの日」は、情報漏えい、サイバー攻撃、データ改ざん、システム障害、サプライチェーンリスクなど、デジタル社会における多様な脅威に着目した記念日です。企業・団体等から、デジタル社会のレジリエンス（回復力・耐性）を高めるための技術・製品・サービス、教育、啓発活動などの提案を募集します。

1 事業化するまでずっと無償 ¥0

提案から審査・採択まで
すべて無償です
事業化に至るまで
一切の費用はかかりません
安心してご検討いただけます

2 売上に連動しない定額型ロイヤリティ方式

事業化後は、記念日の価値に応じた
月額定額のロイヤリティのみ
レベニューシェア型ではありません
売上に連動した追加ロイヤリティは発生しません
シンプルで予測しやすい仕組みです

3 幅広い事業活動に活用

商品やサービスの販売だけでなく
イベント、勉強会、教育、研究開発、
広報など、販売以外の幅広い事業活動
にも対応
審査に合格した企業・団体等が
個別契約に基づき非独占で活用できます

活用例
EXAMPLES OF USE


サイバー攻撃の監視・対策


セキュリティイベント・勉強会


情報漏えい対策の製品・サービス


社内教育・人材育成


サプライチェーンリスク対策

日本の技術と発想が、サイバーリスク対策の未来をつくる。

日本 X-TECH 連盟
JAPAN X-TECH FEDERATION

先端科学技術記念日制度
ADVANCED SCIENCE & TECHNOLOGY COMMEMORATIVE DAY SYSTEM

サイバーリスクの日の2つの活用方式

記念日を起点に、企業・団体等の想いや技術を社会に広く届け、
サイバーリスクへの理解・対策の促進と、デジタル社会の安全・信頼の向上につなげる仕組みです。



オフィシャル型 OFFICIAL TYPE

既に登録された記念日を活用する方式

登録済みの「サイバーリスクの日」を活用して、企業・団体等が自社の技術・
製品・サービスや取り組みを社会に発信できる、信頼性の高い広報・PRの方式です。
サイバーリスクに関する啓発、対策の普及、教育、事業・製品の訴求、信頼構築に最適です。



活用例


情報漏えい
対策のPR


サイバー攻撃
監視サービスの訴求


セキュリティ
教育・啓発の展開


啓発イベント・
セミナーの開催

主な特徴

- ✓ 登録された公式な記念日を使用可能
- ✓ サイバーリスクの認知・理解を社会に広められる
- ✓ 自社のセキュリティ技術・製品・サービスをPRできる
- ✓ 広報活動・各種施策で安心して活用できる
- ✓ セミナー・キャンペーンで社会的関心を喚起
- ✓ 企業の信頼性・ブランド価値の向上に寄与

インキュベーション型 INCUBATION TYPE

新たなサイバーリスクテーマを対象とする方式

これから出願を予定する新しいサイバーリスクのテーマについて、企業・団体等の提案をもとに
審査・採択を経て「記念日」として育てていくライセンス方式です。新たな脅威への対策、新技術・
ソリューションの社会実装、産業横断の取り組みなど、長期的な社会的インパクトの創出を目指します。

対象となるサイバーリスクテーマ事例

※以下は主要分野の一例です

情報漏えい対策	サイバー攻撃対策	データ保護・プライバシー	クラウドセキュリティ	OT・制御系セキュリティ	サプライチェーンリスク	AIのセキュリティ
BCP・危機管理	セキュリティ教育・人材育成	SOC／CSIRT運用強化	インシデント対応・演習	データガバナンス・情報管理	業界連携・国際協調	レジリエンス・持続可能性

主な特徴

- ✓ 企業・団体等が新たな記念日を提案できる方式
- ✓ 最新のサイバーリスク課題を社会に提起できる
- ✓ 新技術・ソリューションの社会実装を目指せる
- ✓ 採択後、記念日を起点とした事業展開が可能
- ✓ 産業・分野を越えた連携・共創が可能
- ✓ 長期的な社会的レジリエンスの向上に貢献

記念日の価値を、ビジネスと社会のサイバーレジリエンスへ

記念日を起点として、企業・団体等が自社の技術や製品・サービスを社会に発信し、
サイバーリスクへの対応力を高め、安全・安心で持続可能なデジタル社会の実現に貢献します。

- サイバーリスクの社会的啓発
- セキュリティブランドの価値向上
- 新たな事業機会の創出と社会のレジリエンス強化

日本 X-TECH 連盟
JAPAN X-TECH FEDERATION
sentankinenbi.com
office@sentankinenbi.com

先端科学技術記念日制度
ADVANCED SCIENCE & TECHNOLOGY COMMEMORATIVE DAY SYSTEM

一般的な記念日の制度との違い

登録する記念日から、次の事業を生み出す記念日へ。

先端科学技術記念日制度は、技術が社会で活用されるきっかけをつくり、
企業・団体等とともに新たな価値を生み出していく仕組みです。



あなたの技術や
想いを、記念日にして
社会を動かす力に。

従来型の記念日登録制度（例）		先端科学技術記念日制度	
1 登録	登録料が必要です。 （金額は団体により異なります）	1 登録	登録料・年会費は不要です。 （応募・初期費用 0円） ※審廉利用開始後は月額定額のロイヤリティが発生します。
2 制度の目的	企業・団体・個人の記念日を登録し、 認知度向上を目的とします。	2 制度の目的	記念日を起点に、技術の社会実装・ 新規事業の創出、産業や地域の発展 につなげます。
3 申請・審査	企業・団体・個人が申請し、 審査後に記念日として登録されます。	3 申請・審査	企業・団体等が申請し、 審査後に記念日として登録されます。
4 登録後の活用	団体のWebサイトや 広報などで周知されることが一般的です。	4 登録後の活用	審査・採択後、個別契約に基づき 記念日の名称等を非独占で事業に活用できます。 自社の広報・PRにも利用できます。
5 登録証	登録証が発行され、 記念日の名称を使用できます。	5 登録証	採択後、利用契約を締結することで、 契約範囲内で記念日の名称等を 活用できます。
6 成果発生後の取り扱い	登録後の活動は登録者が主体となって 実施します。収益の取り扱いは各制度・ 契約等によって異なります。	6 成果発生後の取り扱い	事業利用開始後に月額定額ロイヤリティが 発生します。販売以外の活動（イベント・勉強会・ 研究会・教育・広報など）も個別契約により対応します。

記念日を登録して
認知を広める制度
→
記念日を起点に
新たな価値と事業を生み出す制度
社会に新しい価値を生み出し
ともに未来をつくっていく制度

先端科学技術記念日制度

11月20日 サイバーリスクの日

CYBER RISK DAY

AIによるサイバー防御技術の普及と
重要インフラの保護へ



新規事業・実証プロジェクトの提案募集

01	02	03	04	05
提案者情報	提案テーマ	企画概要	社会的意義	実施計画
企業・団体名と連絡先。	対象となるサイバーリスク。	防御技術や対策の内容。	期待される被害の低減。	実施体制と検証方法。

応募・初期費用0円 | 事業化後は低額の月額定額制 | 応募先 sentankinenbi.com/entry | 日本X-TECH連盟

先端科学技術記念日制度

11月20日 サイバーリスクの日

CYBER RISK DAY

AIによるサイバー防御技術の普及と重要インフラの保護へ



新規事業・実証プロジェクト 応募Q&A

Q1 応募に費用はかかりますか？
応募・初期費用は0円です。

Q2 誰が提案できますか？
企業・団体等からの提案を募集します。

Q3 どのような提案ができますか？
AIを活用したサイバー防御や、重要インフラを守る新規事業・実証企画を募集します。

Q4 記念日の日付は提案できますか？
本制度では11月20日を「サイバーリスクの日」と定めています。

Q5 採択後の流れは？
利用条件を個別に協議し、非独占のライセンス契約を結びます。

Q6 事業化後の費用は？
事業利用開始後は、個別契約に基づく低額の月額定額制です。

応募・初期費用0円 | 事業化後は低額の月額定額制

応募先 sentankinenbi.com/entry | 日本X-TECH連盟

先端科学技術記念日制度
ADVANCED SCIENCE & TECHNOLOGY COMMEMORATIVE DAY SYSTEM

11月20日 サイバーリスクの日
CYBER RISK DAY

AIによるサイバー防御技術の普及を進め、サイバー攻撃への対策と重要インフラの保護を目指す記念日です。



応募無料 | 登録料・年会費なし

応募フォームからご応募ください

応募フォーはこちら >

外部の応募フォームへ移動します

スマートフォンからアクセス

その他のアクセス方法

Webから直接アクセス

sentankinenbi.com/entry

検索からもアクセスできます

サイバーリスクの日

提案することでできること

新しい事業の創出
サイバー防御技術を活用した新たな製品・サービスのきっかけに

社会への発信
技術や取り組みを広く発信し、社会の認知拡大につなげる

産業・地域の発展
技術の社会実装や新規事業により産業・地域の発展を促す

未来への貢献
サイバー攻撃への備えを進め、重要インフラを守る

⚠ 応募に関するご注意

- 本募集は記念日の候補日や選定理由を募るものではありません。11月20日「サイバーリスクの日」を起点とした提案を募集します。
- 採択後、利用条件を個別に協議し、非独占のライセンス契約を締結します。
- 応募内容は審査・検討の参考に使用します。

応募前の確認事項

- 応募・初期費用は0円
- 11月20日は「サイバーリスクの日」
- 事業化までは無償・非独占
- 採択後に個別契約を締結
- 事業利用開始後は低額の月額定額ロイヤリティ
- 採択後は個別契約に基づき利用開始